

## 第1回日中環境教育情報交流シンポジウム開催のお知らせ

谷口文章（日中環境教育情報交流協会・代表）

この日中環境教育情報交流シンポジウムは、日本環境教育学会との共催の下に、日本と中国の環境教育に関わる方々が両国の環境教育の充実を目指し、情報と意見を交換し議論するために開催されます。シンポジウムでは設立総会、環境教育研究者の討論会、教育関係者の発表会、若者たちの学生会議、そして中国の環境機関の視察が予定されています。さらに、普通ではなかなか見ることのできない進行しつつある環境問題の現状、特に、鉱山のクズ山や重工業都市の大気汚染の状況を実際に現地に訪れて調査しますので、環境教育の貴重な資料収集をすることができます。また、内モンゴルまで足を伸ばし、少数民族である蒙古族の人々との交流や内蒙古草原を体験学習する企画も盛り込まれています。環境教育に関心のある方や中国の環境問題に興味のある方だけでなく、内蒙古草原をこの目で見たいという方は、この機会に是非、日中環境教育シンポジウムにご参加ください。また、一般の研究発表も募集しておりますので、下記をご参照のうえお申し込み下さい。

■期 間：8月15日（日）～8月22日（日）

■主 催：日中環境教育情報交流協会

■共 催：日本環境教育学会、日本環境教育学会関西支部、  
「地球環境と世界市民」国際協会

■日 程：

8月15日 AUG CA928便 関西国際空港発 16:00 → 北京空着 18:40（直行便）

16日 日中環境教育情報交流シンポジウム、環境教育情報交流会（於：北京大学）

17日 午前／研究発表・学生会議（於：北京大学）

午後／北京郊外環境保護施設視察（国家環境保護局、中央教育科学院、小中学校参観）

18日 内蒙古草原へ（グリーン車）

19日 草原で日の出を見てから、フフホト郊外の東勝硫黄山で環境汚染調査

20日 馬に乗って、牧民（蒙古族）の家を訪問。馬のゲームと相撲を見学

21日 北京へ向かう途中、重工業都市・包頭で大気汚染の現状を調査、大昭君などを観光

22日 AUG CA927便 北京空港発 10:45 → 関西国際空港着 14:30（直行便）

■費 用：189,000円（シンポジウム参加費・食費・移動費込み、保険別）

■参加者：教育関係者、環境教育に関心のある研究者、一般、学生

■申し込み方法：申込住所（代表者自宅）に参加費内金として50,000円、団体査証（ビザ）申請代金8,000円を現金書留で送付してください。

■申し込み先および問い合わせ先：

申込書発送先：〒621-0007 京都府亀岡市川原林町川原尻下五丹45 谷口文章 宛（代表者自宅）

お問い合わせ先：〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1 甲南大学文学部 谷口文章研究室

TEL/FAX. 0771-23-9464（自宅）あるいは TEL/FAX. 078-435-2368（大学）

Email: fumiaki@konan-u.ac.jp

■締切：1999年6月30日（研究発表希望者は6月15日）

※家族で参加される方は、16日・17日に万里の長城や北京市内の観光オプションツアーも用意しております（費用別途）ので、早日にお申し込み下さい。

※オプションツアーは現地ツアーリストと交渉中ですが、Aコース（8月16日）は一人10,000円前後、Bコース（8月17日）は15,000円前後となる予定です。

※パスポートは有効残存期間が6ヶ月以上必要です。

※シンポジウム、研究発表、オプションツアーすべてに日本語の通訳が付きます。

発 表 申 込 書

発表題目	
簡単な内容	
略 歴	

※発表を希望される方は、6月15日までにレジュメ（A4版1枚）をE-mail ([fumiaki@konan-u.ac.jp](mailto:fumiaki@konan-u.ac.jp))かフロッピー（MS-DOS形式ファイル）に入れて申込書に同封して送ってください。